

ルワンダの子どもたちから

ありがとう

アフリカのルワンダ共和国で、JICA(独)国際協力機構)の青年海外協力隊として活動している本市出身の西村緑さん(黒石団地)から、市内小・中学生や市職員・団体などが集めて送付した学用品をルワンダの子どもたちへ配布したとの報告がありました。

西村さんの呼びかけで、学習環境が整っていないルワンダの子どもたちにノートや鉛筆などを送ろうと昨年5月に学用品を集め、6月に送っていました。



西村さんからメッセージ

たくさんの文房具にとっても驚きました。かわいい物や新品の物がたくさんあり、きっと大切にしていた物を入れてくれた子もいるのだろうなと思いながら1つ1つ確認して配りました。

文房具を受け取った子どもたちは、じっくりと眺め友達同士で見せ合い喜んでいました。日本の物は柄が多くついているので珍しいものだったようです。

学校では全ての子どもたちがボールペンやノートを持っているわけではありません。教科書も有料なので全員が持っているわけではなく、授業は先生が黒板に書いた問題や回答を板書する学習方法です。皆さんが送っていただいた文房具で、子どもたちが黒板の板書を写し、もう一度自分で復習ができるようになる大切な機会を与えてくれました。

ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

西村 緑

学用品配布の様子は、市ホームページの合志市チャンネルに掲載しています。また、西村さんのルワンダレポートを市ホームページの「くらしの情報」→「学びと楽しみ」→「国際交流」に掲載しています。ルワンダの生活や文化を見ることができます。ぜひご覧ください。

今月の表紙



12月20日、このみ坂保育園で行なわれた餅つき。サプライズでくまモンが登場し子どもたちは大喜び。くまモンと一緒にぎねで餅をつきました。つきたての餅を上手に丸めて、おいしそうなおぼっていました。

今月の主な話題

- 平成26年 新年のごあいさつ..... 4
- ボランティアの輪を広げよう..... 6
- 確定申告・市県民税申告はお早めに..... 10
- 地域の身近な相談相手
民生委員・児童委員が決まりました..... 13

総合防災訓練 健康危機管理訓練

災害に備えて

11月10日、合志南小学校で、黒石原区と西沖住宅区を対象にした総合防災訓練を行いました。この訓練は、防災意識の向上と地域住民がお互いに協力し合うことの大切さを感じてもらうことを目的に毎年行なっています。



住民避難訓練



会場では、菊池広域連合消防本部による応急手当や心肺蘇生法の訓練指導のほか、炊き出し訓練、消防団による放水訓練を行ない、参加者は熱心に体験していました。

早朝の大雨にもかかわらず多くの住民が参加し、防災意識の高さが感じられました。



また、今回初めて市社会福祉協議会とボランティアの皆さんによる「災害ボランティアセンター設置訓練」を行ないました。災害ボランティアセンターは、全国から支援に駆けつけるボランティアと被災者を結びつけ、スムーズな支援活動ができるように社会福祉協議会が運営しています。被災家屋内の泥出しや家財道具の後片付けなど、被災者の復興支援に欠かせないボランティアをあっせんする支援拠点となっています。平成7年に発生した阪神・淡路大震災以降、活動が広く展開されるようになりまし



災害ボランティアセンター設置・運営訓練

山鹿市と南小国町社会福祉協議会職員もセンターの運営支援に駆けつけ、ボランティア役には市民ボランティアの皆さんが参加し、それぞれがセンターの運営方法の確認を行ないました。



説明を受ける市民ボランティアの皆さん

同時にふれあい館では、市内で新型インフルエンザがまん延し、市民に健康危機が生じた場合に、被害を最小限に食い止めることを目的に開設する帰国者・接触者外来訓練を行ないました。市立病院がない本市では、ふれあい館に診療所を開設するため、診療所としての機能



帰国者・接触者外来の待合室での対応訓練

災害はいつ起こるかわかりません。今回の訓練のような事前の備えが大切であり、各家庭で話し合い備蓄品の準備も行ないましょう。